第 8 5 5 回

定例教育委員会会議録

日 時 平成 3 1 年 3 月 2 8 日 (木) 9 : 3 0 ~

場 所 益田市役所 第 1 会議室

益田市教育委員会

第855回 教育委員会定例会

招集年月日 平成31年3月28日（木）9時30分～

招集場所 益田市役所 第1会議室

議事日程

第1 会議録の承認

第2 教育長報告

第3 議題

議第4号 専従申請に対する許可について

議第5号 益田市立小学校及び中学校校区に関する規則の一部改正について

議第6号 益田市立学校給食共同調理場設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

議第7号 益田市立小、中学校給食に関する規則の一部改正について

議第8号 益田市教育委員会事務局組織規則の一部改正について

議第9号 益田市学校運営協議会規則の一部改正について

議第10号 益田市公民館管理運営規則の一部改正について

議第11号 益田市立内田交流センター設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

議第12号 益田市指定文化財の指定について

議第13号 益田市スポーツ推進計画の改訂について

議第14号 益田市教育委員会感謝状の贈呈について

報第9号 益田市立小学校及び中学校設置条例の一部改正について

報第10号 益田市公民館設置及び管理に関する条例の一部改正について

報第11号 益田市立秦記念館設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

報第12号 益田市立小中学校事務支援グループ設置要綱の一部改正について

報第13号 益田市立小中学校閉校記念事業費補助金交付要綱の一部改正について

報第14号 益田市文化財保存活用地域計画（案）について

報第15号 平成31年度教育行政の取組方針について

報第16号 第534回益田市議会定例会一般質問について

報第17号 平成30年度3月益田市一般会計補正予算について

報第18号 平成31年度益田市一般会計予算について

第4 その他

(1) 協議

- ・平成31年度（平成30年度事業分）益田市教育委員会点検・評価に係る自己評価について

(2) 情報提供

- ・平成30年度ひとづくりに関する取組実績について
- ・平成31年4月1日付人事異動について

(3) その他

出席者

教育委員会

教 育 長
教 育 委 員
教 育 委 員
教 育 委 員
教 育 委 員

柳 井 秀 雄
渡 辺 隆
中 野 純
舟 橋 道 恵
村 上 三 恵子

事務局職員

ひとづくり推進監
教育総務課長
学校教育課長
文化財課長
人権・同和教育推進室長
美都分室長
匹見分室長
文化財課主幹
教育総務課長補佐
教育総務課主任

大 畑 伸 幸
山 本 裕 士
石 橋 睦 男
木 原 光
石 田 公
河 本 昭 宏
佐々木 厚 造
長 澤 和 幸
藤 本 美 香
中 田 香 織

柳井教育長 それでは、ただいまから第855回定例教育委員会を開催いたします。

第1 会議録の承認

柳井教育長 会議録の承認につきましては、この会議が終わった後にいただきます。

第2 教育長報告

柳井教育長 議案の3ページにありますとおりの会議に出席いたしました。

1点だけ報告をいたしますが、18日に人事権移譲小委員会に出席しております。これは、松江市の人事権移譲の問題ですが、市の代表として私が出席しております。

結論としましては、協議は平行線のまま、松江市を除いては人事権移譲について反対を示しております。人事権移譲ではなく、人事異動のルールなど、改正すべきものがあるのではないかという意見があり、4月に開催される市町村教育長会でこれまでの経過報告等がありますので、またお知らせしたいと思います。

それでは、この件につきましてよろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

第3 議題

○議第4号 専従申請に対する許可について

柳井教育長 それでは、議題に移らせていただきます。議第4号専従申請に対する許可について、事務局からお願いします。

山本課長 これにつきましては、地方公務員法の第55条の2に定められておりまして、当組合の業務に専ら従事することの申請が平成31年2月1日付で本人及び組合の執行委員長からそれぞれ申請が出されております。

議案書に示しておりますように、文化財課主任主事が平成31年4月1日から平成32年3月31日の間、組合業務に専念するということが許可を求めるものでございます。

柳井教育長 これについて、何かご意見はありますか。

渡辺委員 欠員という形にするのですか。それとも、臨時職員を配置されるのですか。

木原課長 臨時職員を充てるということとはございません。

柳井教育長 よろしいでしょうか。それでは、この件につきまして、承認される方は挙手をお願いします。

教育委員 =全員挙手=

○議第 5 号 益田市立小学校及び中学校校区に関する規則の一部改正について

○議第 6 号 益田市立学校給食共同調理場設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

柳井教育長 それでは続きまして、議第 5 号益田市立小学校及び中学校校区に関する規則の一部改正について及び議第 6 号益田市立学校給食共同調理場設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について一括で事務局よりお願いします。

山本課長 議第 5 号及び議第 6 号にあげた規則につきまして、平成 31 年 4 月から鎌手中学校が東陽中学校に再編されることにより、同規則内の鎌手中学校の名称等を削るものでございます。

柳井教育長 鎌手中学校が閉校することによる規則改正ですが、これについて承認いただける方は、挙手をお願いします。

教育委員 =全員挙手=

○議第 7 号 益田市立小、中学校給食に関する規則の一部改正について

柳井教育長 それでは続きまして、議第 7 号益田市立小、中学校給食に関する規則の一部改正について、事務局よりお願いします。

山本課長 今回、改正すべきところは、第 4 条第 4 項の土曜日にあっても給食を実施することができるというところを削除し、また、第 6 条及び第 7 条についても現行の事務の流れに沿ったものに改正するものでございます。

柳井教育長 それでは、この件につきましてよろしいでしょうか。

承認いただける方は、挙手をお願いします。

教育委員 =全員挙手=

○議第 8 号 益田市教育委員会事務局組織規則の一部改正について

柳井教育長 それでは続きまして、議第 8 号益田市教育委員会事務局組織規則の一部改正について、事務局よりお願いします。

山本課長 この改正につきましては、これまで美都、匹見支所におきまして、課と同等の機能を持ちます室の存在がございました。

しかし、昨年度に支所機能の見直しということがございまして、支所に部の分室を置くことで整理されたということで関係する箇所についての改正を行いたいというものでございます。

柳井教育長 それでは、ただいまの説明につきまして、何かご質問があればお願いします。

渡辺委員 美都、匹見については本庁が対応していくということになるのですか。

山本課長 4月から、美都、匹見については、地域振興課の課長が教育委員会の分室を併任することとなります。

予算については、本庁で管理するような状況の中で、美都、匹見のさまざまな教育行政に関わる課題等につきましては、地域振興課長が併任されておりますので、そこで取り組んでいくことになろうかと思えます。予算執行などは美都、匹見で行いますが、予算の管理は本庁になりますので、管理という形で本庁が関わっていくこととなります。

渡辺委員 遺跡の看板等が壊れたままであるとか、無くなったまま放置されているところが何か所かありますが、そういったところに気配りができるのか心配に思って質問させていただきました。匹見や美都の課題については、支所に提案していくということですね。

山本課長 支所だけでなく、必要があれば本庁からも現地に行き、対応していきます。

村上委員 分室のことではありませんが、教育総務課の事務分掌に学校給食に関することというものが追加されておりますが、これまではこの学校給食に関することはどこかに位置づけられていたのでしょうか。

山本課長 調理場の設置条例には、益田市教育委員会が所管するとありますが、本来は、事務分掌にあるべきものであったということで、今回新たに追加いたします。

村上委員 分かりました。

柳井教育長 それでは、この件につきまして承認いただける方は、挙手をお願いします。

教育委員 =全員挙手=

○議第9号 益田市学校運営協議会規則の一部改正について

柳井教育長 それでは続きまして、議第9号益田市学校運営協議会規則の一部改正についてお願いします。

石橋課長 今後の小中一貫教育であったり、学校の統廃合などを考慮した場合、複数の学校の運営協議会が1つにまとまるようなことがあります。その場合に12名以内では人数が不足するというので、12名から18名に増やすものです。

柳井教育長 この件につきまして、何かありますでしょうか。

舟橋委員 この学校運営協議会は現在何校ありますか。

石橋課長 豊川、匹見、小野、戸田小学校の4校です。

舟橋委員 確かに、人数が増えないと皆さんの意見が吸い上げにくいというこ

とはあると思いますが、こういった方を入れたいと考えておられますか。

石橋課長 地区が増えることによって地区におられる方々が増えることもありますし、学識経験者を入れて人数も増やしていけたらとも考えております。

舟橋委員 主には、学識経験者をもう少し入れたいというところがあるんですね。

石橋課長 はい。

柳井教育長 これからいろいろな学校で小中一貫教育を進めていく中で、コミュニティ・スクールが1つになったりということもあろうかと思います。そういった場合、それぞれで取り組むよりも一緒になって取り組んだ方が小中一貫した考え方を持てるのではないかと思います。

来年度から匹見小、中が指定校として研究を行うことになりますが、現在、それぞれの評議員が12名以内ずつおられます。これらが一緒になった時に、たくさんおられても意見がまとまりづらいということもありますし、メンバーを見ると小中学校で兼任されている方がいますので、18名以内が妥当ではないかと考えております。

舟橋委員 人数については、問題ないと思います。ありがとうございました。

柳井教育長 それでは、この件につきまして承認いただける方は挙手をお願いします。

教育委員 =全員挙手=

○議第10号 益田市公民館管理運営規則の一部改正について

柳井教育長 続きまして、議第10号益田市公民館管理運営規則の一部改正についてをお願いします。

大畑推進監 地区振興センターの廃止に伴って、地域づくりという地区振興センターの機能、保健福祉センターの健康増進、介護の業務を引き継ぐということで、これを条文に明記するために改正を行うものです。

渡辺委員 現在は、地区振興センターというものがあって、そこに健康増進などの業務があると思いますが、本来、健康増進などの業務は公民館がやるべきことなんでしょうか。

大畑推進監 もともと、公民館には福祉の増進という業務があります。ですので、あえて条文に明記しなくても良かったのですが、県から適化法の関係で指摘がありましたので、あえて明記いたしました。

柳井教育長 それでは、この件につきまして承認いただける方は挙手をお願いします。

教育委員 =全員挙手=

○議第 1 1 号 益田市立内田交流センター設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

柳井教育長 それでは続きまして、議第 1 1 号益田市立内田交流センター設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正についてお願いします。

山本課長 ただいまの公民館管理運営規則の一部改正に関係しますが、地区振興センターの廃止に伴いまして、この規則の第 8 条第 3 項中の「地区振興センター又は」という文言について削除するというものでございます。

舟橋委員 お聞きいたしますが、内田交流センターを一部貸しているということは知っておりますが、どういったところに貸しているのでしょうか。

大畑推進監 現在、土地改良区、総合型スポーツクラブのボアソルテスポーツクラブ、フルール益田にお貸ししております。

内田分校の統廃合の際に、地元との協議の中で、基本的には福祉、教育に関することで使用するということになっております。

舟橋委員 ありがとうございます。それと、内田交流センターでスクールソーシャルワーカーさんが活動されているということを聞いておりますが、いかがでしょうか。

大畑推進監 心のかけ橋という事業でスクールソーシャルワーカーさんが活動しております。

舟橋委員 不登校の子ども達の学習や活動の場になっていると思いますが、空調など教育環境としてきちんと対応されているのでしょうか。

大畑推進監 空調はありませんが、良い場所ではあります。

舟橋委員 良い場所ではあると思いますが、夏は暑いし、冬は寒いので、子どもたちが行きやすいようにきちんと施設管理をしてあげてほしいと思います。今後、検討をお願いします。

柳井教育長 ありがとうございます。

それでは、この件につきまして承認いただける方は、挙手をお願いします。

教育委員 =全員挙手=

○議第 1 2 号 益田市指定文化財の指定について

柳井教育長 それでは、議第 1 2 号益田市指定文化財の指定について、事務局よりお願いします。

長澤主幹 このたび益田市のお寺、神社に所蔵されております仏像、神像につきまして、市の有形文化財として指定したいということで、本日お諮りするということでございます。

仏像などのそれぞれの説明につきましては、専門の研究者に任せる

こととなりますので、資料で読み取りいただければと思います。

これらの仏像等につきましては、突然発見されたというものではございません。以前からその存在は知られておりましたが、近年、石見美術館あるいは古代出雲歴史博物館等で神像展、仏像展が開催される中で、県の調査研究が進み、その価値が認知されてきたものでございます。

この度、指定しようとするものにつきましては、いずれも中世に制作をされたものでございます。一番古いものでは、櫛代賀姫神社が所有しております平安時代に制作されました僧形神座像でございます。これは、この時代の僧形新坐像の中では、県を代表する神像であるというふうに評価をされております。

また、特筆されるものとしましては、医光寺が所有されております木造釈迦如来座像が応安4年と制作年がはっきりしており、仏像の中に墨書きがありまして、当時の益田兼見が、医光寺の前身であります崇観寺の本尊として制作させたというのが分かっております。

議案の3番目、4番目は、かつて天石勝神社の別当寺でありました真言宗系寺院の勝達寺、ここで所蔵されていた仏像でございます。

3番目につきましては、これは仏像の中に朱書きで記載があり、制作年や、勝達寺のために作られたということが分かっております。

また、4番目につきましては、弘法大師の坐像ということで、真言系の寺院のものであったであろうということが分かるものです。恐らくは勝達寺のものでありましょうと言われております。

7番目の木造阿弥陀如来立像は、高津の教西寺に所蔵されているものでございますが、高さが1メートルほどでございます。鎌倉時代、13世紀中頃に特に好まれて作られていたものですが、いわゆる三尺阿弥陀と呼ばれるものでございます。県内でも残っているものは非常に少なく、市内では、教西寺の他に東町の萬福寺、七尾町の暁音寺に所蔵されておりますが、それらはいずれも県指定になっている仏像でございます。教西寺にあるものも、県指定になっている2体に匹敵するような優れたものであると言われております。

これらの文化財を指定するにあたっては、全所有者から指定されても差し支えないという形の同意書をいただいております。また、この教育委員会に諮る前に、文化財保護審議会の意見を聞くということになっておりますので、3月5日に文化財保護審議会に諮問をいたしまして、同月22日に指定するに値するという形の答申書をいただいております。以上です。

渡辺委員

この8番目にある像形神坐像につきましては、現物は古代出雲歴史博

物館に寄託されているということですが、この像が返ってくるということはないのでしょうか。

長澤主幹 寄託ですので、所有者が先導していくというものですから、益田で展示をしたいということであれば、所定の手続きをして一時返却ということもあると思います。また、所有者が自分で管理したいということであれば、返却される可能性は当然あると思います。

渡辺委員 私としては、せっかく素晴らしいものがあるのに、それが出雲にあるというのは、何か物足りないような気がします。ただ、とても貴重なものなので、保管状況などを考えるときちんとした施設にある方が、焼失などの心配もなく良いことではあるとは思いますが、少し寂しいような気もします。

木原課長 前回、石見の戦国武将展という企画展がありましたが、それほどの規模にはなりません。今年、秋に特別展ということで石見美術館において中世史料の展示があります。

それから、現在、県と共同研究を進めておりますが、この成果発表の展示会を平成33年に石見美術館で行いたいと考えております。こういった企画展の中で、貴重な仏像の展示についても計画として考えておけば、市民の方に見ていただくような機会ができると思いますので、今後、県とも協議していきたいと思っております。

渡辺委員 分かりました。

舟橋委員 こういった仏像などは盗難が心配されますし、火災などにも気をつけないといけないと思っておりますので、そういったところを充分に考えていただき、保管していただきたいと思っております。また、そういった指導も行っていたいただきたいと思っております。

柳井教育長 ありがとうございます。

それでは、この件につきまして、承認いただける方は、挙手をお願いします。

教育委員 =全員挙手=

○議第13号 益田市スポーツ推進計画の改訂について

柳井教育長 それでは続きまして、議第13号益田市スポーツ推進計画の改訂についてお願いします。

大畑推進監 平成25年において策定しましたスポーツ推進計画を5年で見直すということで、今年度、スポーツ推進審議会の方々に1年間かけて協議していただき改訂いたしました。

国において、第2期スポーツ基本計画が策定され、この計画に沿ったもの、また、スポーツ施設のあり方検討委員会で協議いただいた点

を踏まえながら改訂したところでございます。

村上委員

2点についてお伺いします。

益田市スポーツ推進計画の10ページのところにあります(3)の総合型スポーツクラブ等の育成というのは、あまりイメージが湧きにくいのですが、こういった形のものが教えてください。

また、15ページの基本施策5の気軽に利用できる場の充実というところで、外遊びの推進というところに、放課後のグラウンドの活用を推進するとあります。現在、学校における放課後のグラウンド活用の基本的な考え方というものがどのようになっているのかというところを教えてください。

大畑推進監

まず、総合型スポーツクラブは、日本体育協会、文科省が推進しており、ドイツやヨーロッパのスポーツクラブをモデルにしたものでございます。特定のスポーツではなく、文化を含めた、あらゆるスポーツを子どもから高齢者まで気軽に楽しめるというような形のスポーツクラブを作っていくというのが国の施策になっております。

現在、島根県では、島根県体育協会の総合スポーツクラブ専門の職員も配置されているところです。

益田市において、現在、総合型スポーツクラブとして県から認定されているのが、ボアソルテスポーツクラブ、Pegasus(ペガサス)クラブの2つがありまして、ボアソルテはサッカー中心に始めており、Pegasusクラブはもともと、ソフトテニスの団体でありましたが、現在カヌーをしたり、さまざまな活動をしております。

市としましては、益田運動公園に総合型スポーツクラブとの連携をするように働きかけをしているところで、どちらのクラブも専有する拠点がありませんし、運動公園の施設利用促進のためにも連携していくという方向性について運動公園の指定管理者と協議をしているところです。

また、放課後のグラウンド活用ですが、放課後については、各学校の校長の裁量でやっております。実際は、子ども達が放課後遊ぶということが無くなってきています。

現在、ボランティアハウスや放課後児童クラブを学校の中に設置しておりますので、そういったところでグラウンドを活用していくよう進めていただきたいと思います。

村上委員

ありがとうございました。総合型スポーツクラブについては、用語の説明のところに付け加えていただけたら、より分かりやすいのではないかと思います。

大畑推進監

付け加える方向で修正いたします。

舟橋委員 13ページですが、②の益田市体育協会の充実というところで、益田市体育協会の自立に向けたとありますが、現在、どういうふうな点で自立していないのかお聞かせください。

大畑推進監 もともと、体育協会は社会教育課が事務局になっており、益田市体育協会という団体の活動が見えないという行政からの指摘がありました。

4年前に、体育協会の事務局員として人を雇い、この3年間で体育協会の改革をし、事務局を中心に体育協会主催の事業を行うことができるようになりました。

次の目標として、運動公園と連携を取りながら、体育協会としての事業にしっかり取り組んでいくという方向まできており、自立に向けて一歩二歩進んできており、将来的には、主催事業をしながら、収益も上げて一般社団法人化することが当面のゴールだと思っています。

舟橋委員 今までが難しい状況だったということですね。ありがとうございます。

渡辺委員 以前、大分県大山町長だった矢幡治美さんから聞いた話ですが、地区で早朝ソフトボール大会を行っていたところ、回数を重ねるごとにスポーツを楽しむというだけでなく、皆が集まった時に草刈りやごみ拾いをしようという動きが出てきましたという話を聞きました。

このように地域が一体となっていていろいろな行動を起こすと、地域の中から自分たちの地域をどうしていけばいいのかというところまで波及していく、そういう仕掛けづくりなども必要だと思いますので、これから公民館へ指導していく時に、こういった指導もお願いしたいと思います。

大畑推進監 人が集まって、そこで人と人の繋がりができ、そこから何かしようという原動力に繋がるのは、ある意味で大事な手段だと考えておりますので、こういった辺りを公民館に対しても、話していきたいと思えます。ありがとうございます。

舟橋委員 このスポーツ推進計画は、内容がたくさんあり、非常に詳しく書かれておりますが、一目で見て分かるようなものを付け加えていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

柳井教育長 市民が一目で分かるようなものをこれから検討していこうと思えます。

それでは、この件につきまして承認いただけます方は挙手を願います。

教育委員 =全員挙手=

○議第14号 益田市教育委員会感謝状の贈呈について

柳井教育長 それでは続きまして、議第14号益田市教育委員会感謝状の贈呈について、事務局よりお願いします。

大畑推進監 道川公民館の三好館長が長年にわたりお務めいただき、市行政の推進と地域住民の福祉向上に大変貢献していただきましたが、この度ご退任ということと、歴史民俗資料館の休館に伴いまして、同施設の運営に尽力されてきた新松館長がご退任ということになりましたので、多年にわたるご貢献に対して感謝状を贈呈したいと思い、このたび提案させていただきます。

舟橋委員 少し気になりますのは、新松館長の件ですが、この方は、益田市を支えていける一翼を担っておられたと思いますので、違う形でもう少しご協力いただくことができればと思います。

柳井教育長 それでは、お二方に感謝状を贈呈することに承認いただける方は挙手をお願いします。

教育委員 ＝全員挙手＝

○報第9号 益田市立小学校及び中学校設置条例の一部改正について

柳井教育長 それでは、ここから報告に移ります。第9号益田市立小学校及び中学校設置条例の一部改正について事務局からお願いします。

山本課長 規則改正の件でもご説明してまいりましたが、鎌手中学校の統廃合により、鎌手中学校という名称が入っている箇所について、これを削るというものでございまして、3月議会で議決を受けたということでご報告するものでございます。

柳井教育長 それでは、この件についてよろしいでしょうか。

教育委員 ＝全員了承＝

○報第10号 益田市公民館設置及び管理に関する条例の一部改正について

柳井教育長 それでは、続きまして、報第10号益田市公民館設置及び管理に関する条例の一部改正についてお願いします。

大畑推進監 先ほどもございましたが、地区振興センター等廃止に伴う公民館一本化につきまして、地区振興センター設置条例や保健福祉センター設置に関する条例など関係する条例の廃止に伴い、公民館の設置に関する条例の改正を行いました。

条例改正の内容につきましては、地区振興センターや保健福祉センター等で行っていた保健福祉の推進、証明書の交付、その他の行政サービスの補完についての業務を公民館が行うということを規定しております。

柳井教育長 それでは、この件につきましてよろしいでしょうか。
教育委員 =全員了承=

○報第 1 1 号 益田市立秦記念館設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

柳井教育長 それでは続きまして、報第 1 1 号益田市立秦記念館設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について、事務局よりお願いします。

大畑推進監 前回の定例会でもご説明いたしておりますが、雪舟の郷記念館が火曜日、水曜日が閉館ということで、秦記念館も併せて閉館日を火曜日、水曜日に変更するものでございます。

柳井教育長 この件につきましてよろしいでしょうか。
教育委員 =全員了承=

○報第 1 2 号 益田市立小中学校事務支援グループ設置要綱の一部改正について

柳井教育長 それでは続きまして、報第 1 2 号益田市立小中学校事務支援グループ設置要綱の一部改正についてお願いします。

山本課長 この改正につきましても、先ほどの鎌手中学校の統廃合に係るもので、鎌手中学校の名称を削るものでございます。

柳井教育長 それでは、この件につきましてよろしいでしょうか。
教育委員 =全員了承=

○報第 1 3 号 益田市立小中学校閉校記念事業費補助金交付要綱の一部改正について

柳井教育長 それでは続きまして、報第 1 3 号益田市立小中学校閉校記念事業費補助金交付要綱の一部改正についてお願いします。

山本課長 今年度、学校再編の基本指針を策定し、事業を進めてまいります。学校が閉校するにあたっての記念事業に対して、補助金の交付をしております。この補助金の交付要綱の期限が平成 3 1 年 3 月 3 1 日までとなっており、今後も引き続いて、円滑な学校再編を進めていくうえで、期間を 3 年間延長し、平成 3 4 年 3 月 3 1 日までとしたものでございます。

柳井教育長 それでは、この件につきましてよろしいでしょうか。
教育委員 =全員了承=

○報第 1 4 号 益田市文化財保存活用地域計画（案）について

柳井教育長 それでは、報第 1 4 号益田市文化財保存活用地域計画（案）について、事務局よりお願いします。

木原課長 文化財保存活用地域計画につきましては、3 月 6 日からパブリック

コメントを行ってきておりまして、3月25日に終わったところでございます。パブリックコメントでは、3名から5件の意見をいただきました。

昨年の6月に文化財保護法が改正され、この4月1日から施行されるという中で、各自治体で発表した文化財保存活用地域計画を文化庁が認定するということが文化財保護法に定められ、今後、この認定が補助金や交付金の一つの条件になってくるということでございます。

益田市の文化保存活用地域計画につきましては、今年度策定しました益田市歴史文化基本構想に、計画の期間、それから文化遺産の保存活用に関する措置を追加すれば、文化財保存活用地域計画として文化庁の認定条件を満たすこととなります。

議案の61ページに目次を載せておりますが、歴史文化基本構想の内容に新たに必要な項目を追加し益田市文化財保存活用地域計画といたしております。

62ページからは、事前にお送りさせていただきました資料をベースにし、パブリックコメントの意見、文化庁からの指導をもとに加筆修正したものを載せております。文化庁からは63ページの上に文化財の保存・活用に関する方針を付け加えたほうがいいのではないかと指導いただきました。

この文化財保存活用地域計画につきまして、これまでも説明させていただいており、今年度中の策定を目指しておりましたが、文化庁からの指導もあって、もう少し時間が必要であるということで、4月中旬を目途に策定を目指していきたいと思っております。

渡辺委員

62ページの(2)の文化財の指定についての課題というところですが、市町が合併したため、それ以前に指定された文化財について、文化財の名称、指定基準、表示看板などがまちまちになっているところで、これを市で統一して作り変えるということを考えておられるのでしょうか

また、統一していくためには、指定解除ということも視野に入れておられるのかお聞きしたいと思います。

長澤主幹

看板でございますが、合併前の段階で益田市は益田市の看板、美都は美都、匹見は匹見として作っております。益田と美都のものは木製で、何年かに1回は改修を行っておりますが、匹見に関しては、疑似木という形で、ほとんど腐らないものを使っております。匹見の看板は、半永久的に残る材質で作られておりますので、こういった形で統一できればと考えております。

もう一点、指定文化財についての整理ですが、指定解除はせずに、

全体の整理、バランスを取りながら動いていきたいと考えております。

渡辺委員
中野委員

分かりました。

前回も同じような質問をさせていただきましたが、文化遺産を活用した観光振興の取組にも、力を入れられるということで非常に期待をしております。

特に益田市歴史文化基本構想の中の、関連文化財群の内容というところで、自然の景観が示されていたり、千年の歴史を誇る都茂鉱山のストーリーなどがありますが、こういったものをもっと発信していただきたいと思います。

例えば石見空港の掲示のブースに何かPRできるものがあればいいと思いますし、JRであったり、観光協会との協力を積極的に行うことで、もっと益田市の魅力というものを伝えていくことができるのではないかと感じております。

柳井教育長
教育委員

ありがとうございました。

それでは、この件につきましてよろしいでしょうか。

=全員了承=

○報第15号 平成31年度教育行政の取組方針について

柳井教育長

それでは続きまして、報第15号平成31年度教育行政の取組方針について報告をお願いします。

山本課長

先月の定例会におきましてご説明させていただきました、委員の皆様からご指摘等のあった箇所につきまして修正等をさせていただき、3月の定例市議会冒頭で、教育長からこの教育行政の取組方針について表明されましたのでご報告させていただきます。

この一年を通じて、この教育行政の取組方針を参考に事業を進めてまいりたいと思います。

渡辺委員

今、自宅の屋根の修繕に職人の方が来られていまして、今年の春に就職したという新人が2名おりました。その方々は、一生懸命に働いておられ、上司の方も親切に育てておられるのを感じました。新人の方は、益田に残って瓦職人になるということで、早く一人前になりたいという思いを持っておられました。

以前、カタリ場の報告で、2、3年で効果、結果を出すということをお話されましたが、その効果が出ていると感じ、嬉しく思いました。

若い方が減ってきているということで、今後、人材育成や人材確保ということが厳しい時期を迎えると思いますが、益田で働きたい、地元に残りたいというような若い方が増えてくると、今後の益田市の活

性化に寄与してくれると感じました。

柳井教育長
大畑推進監

カタリ場の方はいかがでしょうか。

地元の企業も、選ばれる企業になろうという意識の企業が増えたと実感しております。今後も商工会議所と連携しながら、進めていきたいと思っております。

また、益田高校の理数科の1年生がカセットというグループを作りまして、中学生に勉強を教えるというプログラムを行っております。中学校でライフキャリア教育を受けているからこそ、高校に行っても地域貢献をしようというグループが生まれてきていると思います。少しずつ変化が見えてきていると思いますので、しっかりと輪を広げていこうと思っております。

中野委員

取組方針のはじめに、I o Tであったり、A Iの進化のことが書かれておりますが、過去の計画の中にもI C Tの更新を図られたり、推奨するということが示されてはありましたが、具体的なものをお持ちなのかお聞きしたいと思っております。

柳井教育長

まず、はじめに書いてあることは、今後、我々の時代に比べて物事の進化が激しい不確定な時代になってくる中で、子ども達が必要になってくる力は、コミュニケーション能力や自ら考えて、切り拓いていく力が必要になってくると考えております。

そういった中で、次代を担っているI C Tというのは、やはりこれからの子ども達にはなくてはならないものですから、当然、学校教育の中でもI C Tについては、慣れ親しんで、解決のために使う道具として活用できる能力をつけていかないといけません。

益田市教育委員会は他の市町村に比べて機器の導入は進んでおりますので、子ども達が自身で操作できる力をつけていってほしいと思っております。

中野委員

A Iなどをうまく活用することによって、子ども一人一人がどういった苦手な部分があるのかということも、今後把握しやすくなるのではないかと思います。そういったサポートがしやすくなると考えられると思われましたので、益田市の教育行政としてはどういったお考えがあるのか聞いてみました。ありがとうございました。

村上委員

小中一貫教育の実践校も指定され取り組んでいかれるということで、今後の流れやお考えがあればお聞かせください。やはり地域の方々の理解というものが重要になってくるのではないかと考えておりまして、その辺りの地域への働きかけなどのお考えをお聞きしたいと思っております。

柳井教育長

小中一貫教育というのは、子ども達の育ちを中学校に繋げていくということです。現在、小中学校の繋がりとして、小・中連絡会議や授

業を見に行くなどの連携はやっておりますが、同じ校区の小中学校において、どんな子どもに育てたいか、共通の目標を作っていないといけないと思っております。

来年度に向けて、今年度中にも、目標を定めて、子ども達を育てていきたいと思っておりますが、まずは、市の考え方をきちんと伝えていく場や具体的な実践プランを示していく場を設けたいと思っております。

村上委員 主には、匹見地区の小中一貫教育のモデル的な取組を通じて、それぞれの地域の中にある小中学校の先生方も、その取組を見ながら自分たちの地域の中での実践力を磨いていくということをこの1年間取り組んでいくということですか。

柳井教育長 そうですね。この1年、先行事例を参考に、自分たちの校区について考えていただきたいと思っております。特に、中学校の中に複数校区がある場合は、地域の教育力も重要になってくるため、地域にしっかりと情報を発信していかないといけないと思っております。

つろうて子育てなど地区ごとにもありますので、こういった組織と連携して取り組んでいかないといけないと考えております。

村上委員 ありがとうございます。

柳井教育長 それでは、この件につきましてよろしいでしょうか。

教育委員 =全員了承=

○報第16号 第534回益田市議会定例会一般質問について

柳井教育長 それでは、報第16号第534回益田市議会定例会一般質問についてお願いします。

大畑推進監 今回の益田市議会定例会では8名の議員の方から一般質問を受けました。

主には教育行政の方針について、それから地区振興センター廃止に伴う公民館の一本化について、匹見町の文化財についてのご質問がありました。

あと、遊具についての質問があり、特に小学校区における子ども達の遊具に伴う体力作りの質問がありました。

内容につきましては、資料をお読みいただきたいと思います。

中野委員 遊具についての質問があったということですが、私も気になることがあります。年数とともに遊具施設が老朽化して使えなくなっている学校がたくさんあります。費用面で新設ということは難しいとは思いますが、体力づくりという観点から考えると、やはり前向きに検討していく必要があるのではないかと思いますので、意見として述べさせていただきます。

山本課長

現在、教育総務課に営繕員が9名おりますが、各学校の遊具については点検をしながら、危険性があるものについては、使用禁止というような対応を学校と相談しながら行っております。

子どもの体力面についてもあり、学校教育の中で最低限必要なところの遊具については、更新も考えていかないといけないと思っております。

遊具の更新に係る国の交付金対象額は、下限額が400万円ということでございまして、それ以上のものにならないと対象にならないということで、更新するにしても市の単費になります。今後、遊具の更新についても計画的に行っていないといけないということで検討しているところでございます。

中野委員

ありがとうございます。

柳井教育長

それでは、この件につきましてよろしいでしょうか。

教育委員

=全員了承=

○報第17号 平成30年度3月益田市一般会計補正予算について

柳井教育長

それでは続きまして、報第17号平成30年度3月益田市一般会計補正予算についてお願いします。

山本課長

教育総務課からは7事業あります。まず、学校再編対策費ですが、これは、今年度予算の178万7千円を次年度に繰り越して執行するために、繰越明許費の手続きをしたものでございます。

次に、小学校費のふるさと学校施設環境改善事業費について、これは普通教室にエアコンの設置を行う事業ですが、財源の内訳を変更することに伴う補正予算を行うものです。

次に小学校費の学校維持管理費についても、今年度予算のうち1,094万7千円を次年度に繰り越して執行するための繰越明許費の手続きを行ったもので、併せて、国の交付金の確定に伴う財源内訳の変更を行った補正予算になっております。

次に、小学校の学校建設事業費でございます。これは、桂平小学校の校舎の解体見込み額を減額し、現計予算額の1,218万1千円を次年度に繰り越して執行する繰越明許の手続きをしたものでございます。

それから、次の79ページですが、これは中学校費のふるさと学校施設環境改善事業費ですが、先ほどの小学校費と同様に歳入の財源内訳の変更による補正要求をしたものでございます。

それから、80ページの中学校費の学校建設事業費でございます。これにつきましては、中西中学校屋内運動場の建設事業費で、国の交付金等の確定に伴った財源内訳の変更と工事費が確定しましたので3,

867万6千円の減額をするというものでございます。

次に81ページの斎藤驍育英基金補助金ですが、交付決定の額が確定しましたので、130万6千円の減額補正をしたものでございます。教育総務課からは以上でございます。

石橋課長

続きまして、学校教育課からは、学校教育指導主事派遣事業費について、38万8千円を増額するものです。

派遣指導主事は、賃金については2分の1が県負担、残りの2分の1が市の負担となっておりますが、超過勤務手当につきましては全額、市の負担となっております。

この度、その超過勤務手当を38万8千円増額しますが、主な内容としましては、支援の必要な児童に細かく対応するために、今までは年長の子どもを対象としておりましたが、対象を年中まで広げたことが要因となっております。また、「早寝早起き朝ごはん」フォーラム、クラスジャパンの成果発表会などの開催が続きましたので、これらの開催についても要因となっております。

大畑推進監

続きまして、社会教育課からは4事業について補正要求し、可決されました。

4事業ともに減額の補正要求をいたしました。

美濃地屋敷管理運営事業の茅葺屋根改修設計の129万6千円につきましては、全国社寺等屋根工事技術保存会という公益財団法人がありまして、そこと協議した結果、広島にある事業所で、資料提供をいただくことで、対応できるということでしたので、設計委託料は不要となったというものでございます。以上です。

柳井教育長
教育委員

それでは、この件につきましてよろしいでしょうか。
=全員了承=

○報第18号 平成31年度益田市一般会計予算について

柳井教育長

それでは続きまして、報第18号平成31年度益田市一般会計予算について、お願いします。

山本課長

平成31年度当初予算の概要という資料をご覧ください。

まず、1ページを開いていただきますと、31年度の一般会計予算の総額を上の方に記載しております。257億2,100万円ということで、対前年度を見ていただきますと、伸び率が4.81%で、額にして11億8,100万円の増額予算ということになっております。

教育関係予算というところでは、2ページの喫緊の課題への対応に優先配分するというところで、小中学校ともにふるさと学校施設環境改

善事業費と学校建設事業費があがっております。

ふるさと学校施設環境改善事業費では、平成31年度中に市内の全小中学校の普通教室へエアコンを設置していくということで予算計上しております。

また、小学校の学校建設費は桂平小学校の校舎建築工事と平成32年度に建設予定の中西小学校校舎の実施設計、土地の造成などに係る予算を計上しております。

それから、中学校の学校建設事業費でございますが、これは中西中学校屋内運動場の外構工事に係る予算を計上しております。

また、総合戦略への重点配分としては、つろうて子育て推進事業費、学校を核とした子育て充実事業費、ブックファースト事業費といったものが予算計上されております。

最後に8ページをご覧ください。

歳出の目的別ということでお示ししておりますが、この中で教育費について27億8,700万円ということで、全体の構成比の中では10.84%を占めております。また、対前年度の伸び率におきましても、商工費に続く伸び率ということで、他の費目が抑制される中で、教育費については積極的な予算措置をさせていただいており、期待されているところでございます。

柳井教育長

それでは、平成31年度の当初予算について説明がありましたが、よろしいでしょうか。

教育委員

=全員了承=

第4 その他

(1) 協議

○平成31年度（平成30年度事業分）益田市教育委員会点検・評価に係る自己評価について

柳井教育長

それでは、協議に移ります。平成31年度（平成30年度事業分）益田市教育委員会点検・評価に係る自己評価について、よろしく願いします。

山本課長

例年、教育委員会の事務事業について自己評価を行っておりますが、今年度も終わりになりました。現在、それぞれの課で各事業の結果について検証している状況であります。

各課で検証中ですので、本日は結果報告をお渡しできませんが、4月下旬の定例会でお示ししたいと考えております。皆様にお示ししてご意見をいただきながら、5月の定例会で教育委員会の自己評価の決

定をしていきたいと思っております。

それが終わりますと、6月、7月のところで外部評価委員による評価を2回程度予定しているところでございます。

8月の定例会で外部評価の結果について報告させていただき、最終的には、9月議会で報告し、10月には市民の皆様公表をしていくという流れを考えております。

そしてもう一つは、平成31年度の新しい目標設定を行うということで、教育に関する大綱にある各重点項目について具体的な取組事業の設定を行っていくこととなります。

本日、資料をお渡ししたばかりですので、ご覧いただき何かありましたら4月10日ごろのところで私の方にご一報いただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

柳井教育長

31年度の目標設定など、このようにした方がいいというようなご意見がございましたら、教育委員会へ連絡いただきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

それでは、この件につきましてよろしいでしょうか。

教育委員

=全員了承=

(2) 情報提供

○平成30年度ひとづくりに関する取組実績について

柳井教育長 それでは、平成30年度ひとづくりに関する取組実績についてお願ひします。

松本補佐 それでは、まず、新・職場体験について説明いたします。

今年度、中学校11校、鎌手中学校は2回やりましたので、計12回新・職場体験を実施しまして、総勢で439名の生徒さんを対象に実施することができました。

協力していただいた事業所が122事業所ということで、昨年度は85事業所程度でしたので、参加していただける事業所も増えております。

職場体験の中で、対話を充分に行った生徒からは、益田のことが好きになった、益田に対して良いイメージを持ったという結果が出ております。逆に、対話が少なかったと感じた生徒からは、益田に対しての関心が低いという結果が出ました。

やはり、対話を通じて生徒さんの変容が大きく見られたということで、引き続き、この対話というものを重点に入れて取り組んでいきたいと思っております。

次に、カタリ場についてです。

今年度も小学校、中学校、高校において益田版カタリ場を実施いたしました。

中学校、高校のカタリ場については、574人の中高生に参加していただきました。特に本年度、中学校においては、公民館職員にカタリ場キャストの募集の協力をいただきました。高校のカタリ場では、市内の事業所の方に社員研修の一環ということで参加していただきました。小学校のカタリ場では、高校3年生が小学校に出向いてカタリ場を実施しました。

次に、教育委員会の皆様にもご参加いただきました「ひとが育つまち益田フォーラム」については、昨年度よりも多くの方にご参加いただき、当日午後だけで400人を超える方々にお越しいただきました。

柳井教育長
教育委員

それでは、この件についてよろいしでしょうか。
＝全員了承＝

○平成31年4月1日付人事異動について

柳井教育長
山本課長

それでは、平成31年4月1日付人事異動についてお願いします。
平成31年4月1日付人事異動について、抜粋してご報告いたします。

まず、教育部長ですが、武内部長の異動に伴い、後任として、政策企画課の野村課長が昇任されます。また、学校教育課の石橋課長の異動により、その後任として、現在教育総務課学校再編推進室の田原室長が昇任され、県教育委員会からの派遣解除ということで城市参事が解除されました。その後任として、森脇氏が派遣されることになっております。

柳井教育長
教育委員

詳細につきましては、資料をご覧ください。
それでは、この件につきましてよろいしでしょうか。
＝全員了承＝

柳井教育長

それでは次回の日程を決めたいと思います。次回は4月25日の9時30分から定例教育委員会を開催いたします。よろしく願いいたします。それでは以上で定例教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。

＝終了時間 11時10分＝